

## 令和4年度アクション・プラン【阪神北県民局】

### I 目指す姿

阪神北地域は、かつての首都圏「畿内」西端の「摂津国」に属し、歴史の表舞台に数多く登場してきた。明治時代の鉄道網の開発とともに、快適な住環境を備えた郊外住宅地として発展し、近代的な芸術文化や生活様式を柔軟に取り入れた独特のライフスタイル「阪神間モダニズム」を築き、特色ある歴史・文化を育んできた。

また、交通網が充実した多くのニュータウンが開発される一方で、森林面積が約6割を占め、その約9割が天然林であり、今なお歴史・文化や生物多様性などを保つ里山が数多く残されている。

しかし、人口の減少や少子高齢化が急速に進むことにより、オールドニュータウン問題の顕在化や地域の活力低下等が懸念されるなど、成長社会から成熟社会へ移行する中で、この地域の新たな発展が求められている。

このため、利便性が高く、魅力ある地域資源をつなぐ充実した鉄道網・道路網などが整った快適な住環境や「日本一の里山」をはじめとする豊かな自然、さらには消費地に近接する都市・都市近郊農業の優位性を生かし、「阪神間モダニズム」といわれる地域独自の市民文化などの中で実践される自然・歴史・文化・芸術・スポーツなどの多彩な活動を楽しむ生活全体を「アート・ライフ」と名付け、自分にあった生活を創造・実現できる地域づくりに取り組み、若者の域外への転出を食い止め、転入を促し、「アートな暮らしが賑わう活力あるまち」を目指す。

### 【目標】

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
芸術文化に接する機会 (住んでいる地域は芸術文化に接する機会があると思う人の割合)※		52%	54%	56%	58%	60%以上 ※過去最高割合
	47.8%(H30)	48.5%	40.3%			
自然・歴史・芸術・文化・スポーツで賑わうまちづくり(観光入込客数)		2,020万人	2,040万人	2,060万人	2,080万人	2,100万人
	1,994万人(H30)	1,894万人(R1)	1,240万人(R2)			
地域資源の価値(観光消費額(名目))		1,900億円	2,025億円	2,150億円	2,275億円	2,400億円
	1,515億円(H30)	1,494億円(R1)	920億円(R2)			
対外的に誇れる地域資源の存在 (住んでいる地域に自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合)※		58.0%	58.5%	59.0%	59.5%	60%以上 ※過去最高割合
	56.9%(H30)	54.6%	49.8%			
農産物等生産・流通(農業産出額(推計))の向上		78億円	78億円	78億円	78億円	78億円 ※過去4年間の最高額維持
	77億円(H29)	73億円(R1)	71億円(R2)			
阪神北地域に住み続けたい人 (住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合)※		79.2%	79.4%	79.6%	79.8%	80%以上 ※過去最高割合
	78.8%(H30)	81.2%	76.5%			

※出展：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
移動の利便性が高い地域（住んでいる地域の公共交通機関は便利だと思う人の割合）※		62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70%以上 ※過去最高割合
	60.8% (H30)	56.7%	57.5%			
転入者数（日本人住民・国外含む）		27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人 ※現状維持
	26,292人 (H30)	25,783人 (R1)	24,096人 (R2)			
ものづくり技術力（製造業粗付加価値額）の向上		4,200億円	4,250億円	4,300億円	4,350億円	4,400億円
	4,236億円 (H29)	4,056億円 (H30)	3,867億円 (R1)			

※出展：「兵庫ゆたかさ指標」県民意識調査

## II 取組の方向性

- 1 歴史・文化や景観を生かした街並みを整備するとともに、清和源氏発祥の地などの歴史文化や阪神間モダニズム文化、地域の伝統文化などの多彩な魅力を体感し、自分に合ったライフスタイルを発見・実現できる地域づくりに取り組む。
- 2 都市・都市近郊農業の魅力アップや地域住民、団体、事業者等が一体となって、重要な地域資源である北摂里山(先進的里山・まち山を含む)の持続的な保全、新たな利活用等を推進することにより、地域のブランド力向上に取り組む。
- 3 住環境の良さを内外にアピールするとともに、認知症の人などを支え合うまちづくりや、高齢化が進む農村と都市住民の交流促進、地域を支える産業の振興や雇用の創出を支援することなどにより、誰もが暮らしやすさを実感できる地域づくりに取り組む。

## III 具体的な取組（主なもの）

### 1 歴史・文化・芸術が息づく「まち」の創出

#### (1) 伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり

阪神間モダニズムや阪神地域の多様な芸術文化資源を情報発信していくことにより、交流人口の拡大につなげ、活力ある地域づくりを目指す。

#### 【主な事業】

##### ① 阪神地域オープンミュージアム無料開放DAYの実施《1,200千円》

- ・ 美術館や博物館が無料開放を行うことにより、文化資源へ接する機会を提供するとともに、交流の拡大及び地域の魅力を発信

※ 阪神南県民センターと共同実施

#### (2) 自然・歴史・文化を生かしたまちづくり

来訪者や地域住民がスポーツサイクルやまち歩きを楽しむまちづくりを目指し、地域を代表する自然・歴史・文化等の地域資源を生かしたスポーツサイクルを楽しむ環境や街並み整備等に取り組む。

### 【主な事業】

- ① ひょうご北摂里山サイクルツーリズムの推進《7,892 千円》
  - ・ サイクルツーリズムの推進を通じて地域活性化を図る「ひょうご北摂里山ライド 2022」の開催やサイクリイベントの開催、サイクルマップの作成を実施
- ② 武庫川（宝来橋～宝塚大橋）周辺散策空間の整備《4,866 千円》
  - ・ 宝塚市と連携し、市民がくつろぎ、交流できる歩道空間を整備
- ③ 清和源氏発祥の地・多田神社周辺のまち並み整備《9,079 千円》
  - ・ 川西市と連携し、歴史と文化を感じ、県道沿線のまち並みの景観にも配慮した参道風舗装を整備
- ④ 三田駅周辺散策空間の整備《7,802 千円》
  - ・ 三田市と連携し、「新しいまち」と「歴史の面影あふれるまち」をつなぐ散策空間を再整備
- ⑤ 阪神疏水プロジェクト ～母子大池疏水の保全・活用～《2,000 千円》
  - ・ 古くから残る母子大池疏水を将来にわたり適切に維持管理するとともに、地域の貴重な資源として地域全体で守り活用していく取組（保全計画・啓発資料の作成、イベント実施等）を支援

## （3）地域の魅力を生かした交流人口の拡大

交流人口の拡大を図るため、多彩で魅力的な地域資源のPRや外国人観光客の誘客促進に向けたツーリズム施策を展開する。

### 【主な事業】

- ① ひょうご北摂・インバウンド誘客の推進《拡充・4,055 千円》
  - ・ ホームページのほか、SNS を活用した多言語情報発信、オンラインツアー等を実施
- ② 阪神都市農業情報発信強化事業《拡充・2,488 千円》
  - ・ 都市農業情報発信拠点「ひょうご都市農業支援センター」（H24 設置 伊丹市北本町）の情報発信機能の充実
  - ・ 都市農業の応援団である都市農業ファンクラブ会員等に対する活動を強化し、地域住民との共生による都市農業を推進
- ③ 県立有馬富士公園「新宮 晋 アート」の魅力発信《2,500 千円》
  - ・ 県立有馬富士公園休養ゾーン（「新宮 晋 風のミュージアム」）などにおいて「新宮 晋 アート」の魅力を発信するPRイベントを支援

## 2 地域のブランド力が高まる「まち」の創出

### （1）阪神アグリパーク構想の推進

阪神地域の多様な「農」や食に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークと見立て、農業者、食関連等事業者、消費者が連携して「農」と食の魅力を見つけ・活かし・楽しむプロジェクトの展開により、都市・都市近郊農業の振興と地域の魅力アップを目指す“阪神アグリパーク構想”を推進する。

#### 【主な事業】

- ① 阪神産農産物パワーアッププロジェクト《拡充・4,060千円》
  - 「阪神産」黒大豆枝豆のブランド化と需要拡大
    - ・ スマート農業技術等を利用した機械化体系の確立と技術普及
    - ・ 保育園児等を対象とした枝豆のさやもぎ体験を通じたファンづくり
- ② 「阪神アグリな100」発信プロジェクト《973千円》
  - ・ 阪神地域の魅力的な「場所」、農産物などを紹介するホームページの内容を充実
- ③ 「メイド・イン・阪神」発信プロジェクトの推進《2,170千円》
  - ・ 阪神地域の「農」と食に関連する拠点施設等をめぐるモバイルスタンプラリーの実施
  - ・ 阪神産食材を積極的に使用する飲食店等登録制度の普及拡大
- ④ 阪神農家×事業者マッチングプロジェクトの推進《560千円》
  - ・ 地域の農畜林産物を利用した新商品開発・販売促進等を支援

### (2) 北摂里山の魅力向上の推進

伝統的里山、先進的里山、天然記念物の保全・管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等と連携しながら、北摂里山(先進的里山・まち山を含む)の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)構想を推進する。

#### 【主な事業】

- ① 北摂里山魅力づくり応援事業の実施《3,500千円》
  - ・ 北摂里山をフィールドに活動する団体が行う里山整備活動等を支援
- ② 里山資源を活用した環境学習の実施《3,285千円》
  - ・ 「北摂里山大学」の開講や「こども北摂里山探検隊」の実施

### 3 住み続けたい「まち」の創出

#### (1) 「ひょうご北摂ライフ」の推進

移住・定住の促進を図るため、良好な住環境や地域の魅力を体験する機会を提供するなど、阪神北地域の暮らしやすさのPRに取り組む。

#### 【主な事業】

- ① 「ひょうご北摂ライフ」魅力発信による移住・定住促進《拡充・7,149千円》
  - ・ 大阪ふるさと暮らし情報センターでの情報発信やメディアの活用、ポータルサイトやインスタグラムを通じて地域の魅力を発信
  - ・ ひょうご北摂移住体験バスツアーやひょうご北摂お試し居住等の事業展開
- ② 阪神都市圏における公共交通の利用促進《1,667千円》
  - ・ 「阪神地域えきバスまっぷ」の購入・配付や小学生のための交通・環境学習出前講座の実施

## (2) 認知症の人や高齢者などにやさしいまちづくり

誰もが安心して生活できる地域づくりを目指し、認知症の人などをみんなで支え合う気運の醸成や障害者の自立と社会参加を支援する。

### 【主な事業】

- ① 「認知症サポート商店街」の実践活動の支援《800千円》
  - ・ 認知症サポート商店街が行う啓発イベント等を支援
- ② フレイル予防の推進《600千円》
  - ・ 高齢者施設等において機能訓練が行えるよう、リハビリ専門職による講座を実施
- ③ “きらっと☆オンリーワン”商品の販売促進《507千円》
  - ・ 管内の障害者就労施設で作られた自主生産品を販売する「“きらっと☆オンリーワン”ショップ」の開設やバザールの実施

## (3) 阪神北地域の経済活性化

豊かさと賑わいを創出する地域経済の活性化を目指し、地域産業の高度化や人材確保、起業したい人などを支援する。

### 【主な事業】

- ① 若者ものづくり人材確保支援《800千円》
    - ・ 高校生・大学生を対象に企業訪問バスツアーやロボットセミナーを実施
- ※ 阪神南県民センターと共同実施

## (4) 安全・安心な暮らしの実現

自然災害などの脅威から暮らしを守るため、安全で安心して生活できる地域づくりに取り組む。

### 【主な事業】

- ① 新型コロナ感染予防・小児救急知識等普及啓発事業《拡充・1,242千円》
  - ・ 阪神北広域こども急病センターの看護師が実施する、小児救急医療の基礎知識や子どもの急病時の対処方法等の講座で、新型コロナウイルス感染予防の知識啓発を実施
- ② 阪神北地域防災セミナーの開催《169千円》
  - ・ 阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、地域の防災力を強化するセミナーを開催
- ③ 河川総合治水対策の推進《一》
  - ・ 武庫川・猪名川流域において、「ながす」河川下水道対策、「ためる」流域対策、「そなえる」減災対策を組み合わせた「総合治水」を推進
- ④ 防災・減災対策など社会基盤整備事業のPR《新規・2,280千円》
  - ・ 防災・減災対策などハード対策の重要性を伝えるため、社会基盤整備事業のPRビデオを作成、ひょうごチャンネルやSNSにより広く周知するとともに、中・高校生を対象に現場見学会などを開催